

東京大学の駒場キャンパス ～成り立ちから現状、将来へのビジョン～

小話：総合芸術家ル・コルビュジエの建築

日時：2014年4月14日（月）
15:00～17:30

会場：長大東京支社
16階大会議室

■ご案内

各大学でご活躍される先生方々をお招きしての講演会第2回目は、今回は、東京大学駒場キャンパスの整備に永らく関わっていらっしゃる加藤教授からお話を伺います。前半は東京大学駒場キャンパスの整備コンセプトや整備手法について、後半では加藤教授の永年の研究テーマである総合芸術家ル・コルビュジエの建築についてお話頂きます。

東京大学駒場キャンパスは、京王井ノ頭線駒場東大前駅の北側に約15haの敷地を有しています。1935年、ここにあった東京帝国大学農科学校が向ヶ丘に移転、旧制第一高等学校が駒場に移転する土地交換を行いスタートしました。第2次大戦後、教養学部が整備されるに至り、現在は敷地内にフレンチレストランが置かれるなど充実した環境づくりが進んでいます。

キャンパスづくりは、まちづくりの集約版です。日本を代表する大学キャンパスのお話をもとに、教育・研究拠点と連携するまちづくりについて、社内パネリストを交えて思考を広げる機会を設けました。ご関心のある方はお気軽にご参加下さい。



■プログラム

- 挨拶 15:00 ～ 15:05 (株)長大 常務取締役 社会事業本部長 山脇 正史
- 講演 15:05 ～ 17:00 東京大学教授 加藤 道夫
- パネルディスカッション及び質疑
17:00 ～ 17:30 東京大学教授 加藤 道夫
(株)長大 まちづくり推進事業部 副技師長 寺嶋 修康
(株)長大 まちづくり推進事業部 副事業部長 長沢 護

■講師プロフィール

加藤 道夫



東京大学総長特任補佐（キャンパス計画）
同大学院総合文化研究科教授 博士（工学）

専門分野： 建築設計論東京大学のキャンパス計画にも協力
1954生まれ

著書： 『ル・コルビュジエ全作品ガイドブック』（翻訳）
『ディテールから探るル・コルビュジエの建築思想』（翻訳）
『ル・コルビュジエ 建築図が語る空間と時間』（単著）
『総合芸術家 ル・コルビュジエの誕生 評論家・画家・建築家』（単著）
など

問い合わせ先：(株)長大 社会事業本部 まちづくり推進事業部 アルコム建築部
担当：井伊（電話番号 03-3532-8607 内線433）

